

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成 25 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：生活歯援プログラムを用いた地域住民啓発活動</p>
<p>2. 申請者名：<u>一般社団法人小田原歯科医師会 河野 力</u></p>
<p>3. 実施組織：一般社団法人小田原歯科医師会</p>
<p>4. 事業の概要： 本事業は来場者の多い健康に関する地域住民啓発活動において日本歯科医師会 「生活歯援プログラム」を用い、歯の健康力の結果を示すことにより、回答者本人が気付かない問題点を示し、歯科医師もしくは歯科衛生士が口腔疾患の予防および口腔機能低下の予防に重点を置いた指導を行い、行動目標を設定させ予防歯科医療の重要性と口腔健康の意識の高揚を図る。</p>
<p>5. 事業の内容： 市民の多く集まる地域住民啓発活動の参加者を対象に実施。 ①「生活歯援プログラム」の質問項目に記入させる。 ②質問結果をパソコンに入力して、結果表をプリンターで印刷して参加者に渡す。 ③結果表を基に歯科医師または衛生士が口腔疾患および口腔機能低下の予防に重点を置いた指導を行う。 ④行動目標を参加者自身が決め、重度の場合は歯科医院への受診を進める。 ⑤結果表を持参した参加者が歯科医院を受診した場合行動目標をフォローする指導を行う。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）： <input type="radio"/> 高齢者の参加が多かったので、記入用紙を見やすくすべきであった。 <input type="radio"/> 参加者が予想以上に多かったため、入力担当者の増員が必要である。 <input type="radio"/> 高齢者が多く、記入事項が書かれていない所もあり、記入補助者も必要である。 <input type="radio"/> 参加者の口腔疾患に関するモチベーションが上がったと思われる。 <input type="radio"/> 結果はチャートと困りごとが色別印刷され、参加者および指導担当者もわかりやすかった。 <input type="radio"/> 結果用紙を見て参加を希望する者が増加したと思われた。</p>